

ふれあい通信



長南町長
平野 貞夫

今回の「ふれあい町民ツアー」は、長南町が誕生して60周年を迎えたことから、その記念事業として町主催により実施しました。

住民同士が親睦を深め、交流の輪を広げることは、行政にとっても「協働のまちづくり」を進める上で、大変有効であると思っておりますし、また、この記念すべき年を皆さんとお祝いをしたいという思いもあつて実施したところであります。

募集人員150名のところ参加者60名と、目標には程遠い人数となりましたが、おそらく、実施日が大型連休明けとなったことや団体行動を苦手とする人が増えてきたことによるものではないかと思っております。参加された方々には、「和気あいあいのすごく楽しい旅行でした。」と言っていただけですが、このツアーを継続するかどうかは検討の必要があるのではないかと思います。

先日、長南保育所の運動会がありま

した。あいにくの天気で順延しての開催となったこの日も、開始前から小雨が降り続いており、役員の方や職員が懸命にグラウンド整備をしていました。実は前日、課長から「保護者からの要望も多いことから、明日は小雨でも決行します。」と報告がありました。お家の方にすれば、お子さんの成長ぶりや保育所での生活ぶりを年に1度の運動会を通して見てみたいという思いが強いのかもしれません。私は「子どもたちの健康面を最大限に考慮した中で、要望に応えてあげてください。」と指示をしました。

小雨の中で始まった運動会。プログラムは大幅に変更となりましたが、鼓笛演奏やお遊戯、かけっこなど園児はこれまでの練習の成果を充分に発揮し頑張っていました。後半には雨もあがり、最後の白熱した大王ころがしリレーには、会場のすべての人が感動を覚えたことでしょう。講評の中で、松崎議員が「今日の皆さんの出来は100点満点中200点です！良く頑張りました。」と園児の健闘をたたえました。

次世代を担う子どもたちの前途に幸多いことを願っています。

SADA[©]
No.12